

まちづくりワークショップ成果報告書

研究日時 平成20年3月8日(土)

13:30~16:00

場 所 総合体育館研修室

1 グループ名 教育文化グループB

2 研究成果 別紙のとおり

3 グループメンバー

(1) 公募住民(3名)

奥野泰子 島本健次 森谷等

(2) 団体・機関(1名)

岸婕子(文化協会)

(3) 準備委員(4名)

笛木隆雄(ファシリテータ) 中村榮子

田村博一 濱砂豊子

(4) 職員(1名)

伊勢亀邦雄(生涯学習係)



教育文化グループ B

※タイトル右欄の数字は、相互評価ポイント

アイデア

- ①農業を学ぶ…8P
- ②体系的な学習講座…3P
- ③異世代交流・学習(地域文化)…10P
- ④異文化交流…4P
- ⑤伝統文化保存…14P
- ⑥コミュニティの場所作り…14P
- ⑦スポーツの場を作る…3P

対 策

- ②体系的な学習講座…16P
 - ・内容について—町の歴史・環境問題・古典—
 - ・場所について—学校の空き教室を有効に—
 - ・講師について—大学とコラボレーション・町の職員・NPO—
 - ・回数について—5回は続ける・@1.5H

- ③異世代交流・学習(地域文化)…9P

継続的な活動のためのプログラム作り及び人材・場所確保。

おとしよりの昔話を聞く。

同じテーマで高齢者青年、小中学生が話し合う場を。

高齢者が気軽に参加できる体系的なもの。

集会所を使用する。

- ⑥コミュニティの場所作り…4P

遠くまで歩けない人も楽しめる行事を。

集会所の利用。

小規模集会所を作る、又は既存の建物を使う。

集会所の外にトイレを作ってください。

空き家などを借上げて使える場所を多く作る。

車椅子でも自由に出入りできるバリアフリーの作りを標準仕様に。